

1 移転案の概要

- (1) 敷地面積 : 約6000平方メートル
- (2) 構築物 : 3階建てを想定
- (3) 延べ床面積 : 約1,200平方メートル程度を想定
 ※高架橋の高さが約12メートルであるため、景観や将来のメンテナンス性等を考慮し、3階建てで検討
- (4) フロア配置 : 1階部分に待合所、案内・発券機能等を配置
- (5) 乗り場 : トランジットモール線に4～5バスの設置を想定

2 建築条件等

- (1) 建築物の建ぺい率 : 80パーセント以下
 - (2) 建築物の容積率 : 400パーセント以下
 - (3) 壁面の位置の制限 : 道路境界から2メートル以上
- ※その他、新幹線高架及び在来線高架との近接協議が必要

3 発着予定便数等

- (1) 1日当たり約300便の発着を想定（現在のターミナルと同じ便数を想定）
- (2) 発着予定の路線
 - ・ 県外高速バス（福岡、北九州、熊本、大分、宮崎、鹿児島）
 - ・ 県内都市間バス（長崎空港、佐世保、ハウステンボス、雲仙）

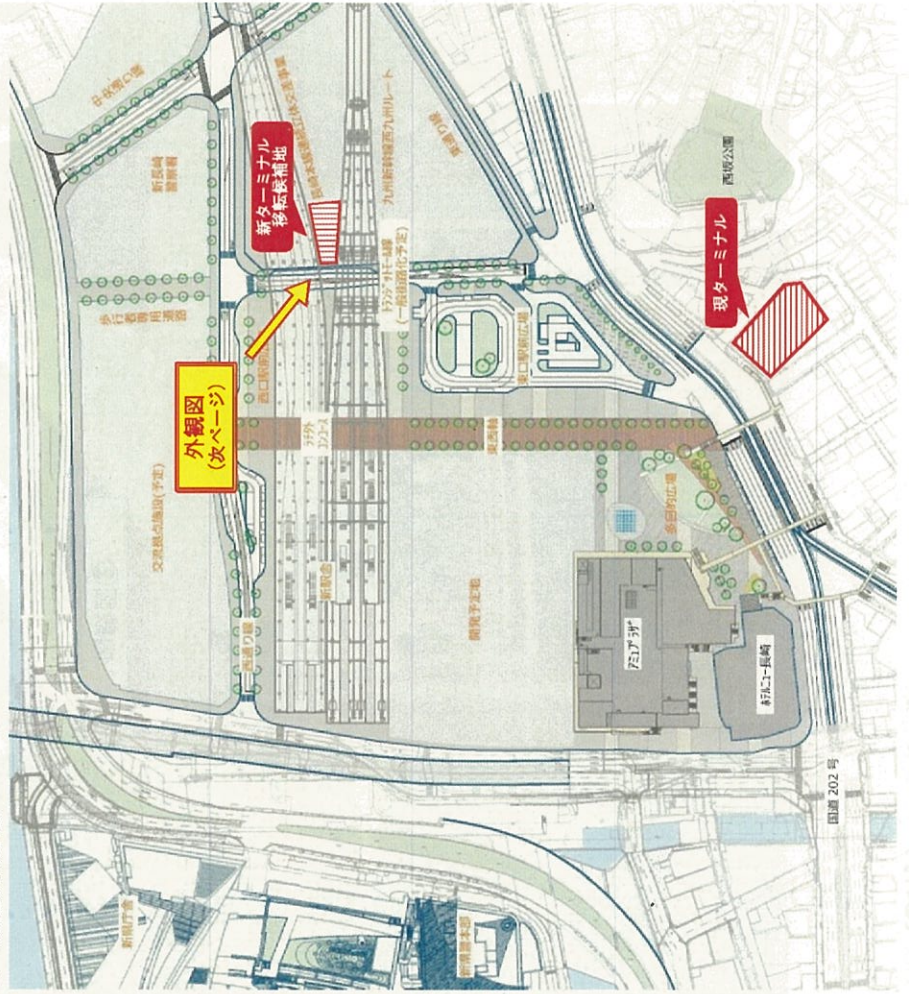
（参考）現在の長崎ターミナルの概要

- ・ 建設時期 : 昭和38年11月（築53年）
- ・ 敷地面積 : 2,273平方メートル（一部、民間借地）
- ・ 構造 : 地下1階、地上6階、塔屋
- ・ 1日当たり利用人員 : 約5,000人（平成27年度実績）
- ・ 1日当たり発着便数 : 平日303便/日（平成28年4月現在）

4 工程表

H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
..... 協議・調整 / 設計・建築 ※具体的には、新幹線工事及び在来線の高架工事、駅前広場等工事との調整の上整理						↑ 供用開始（予定）

5 建設予定地



6 外観及び内観イメージ図



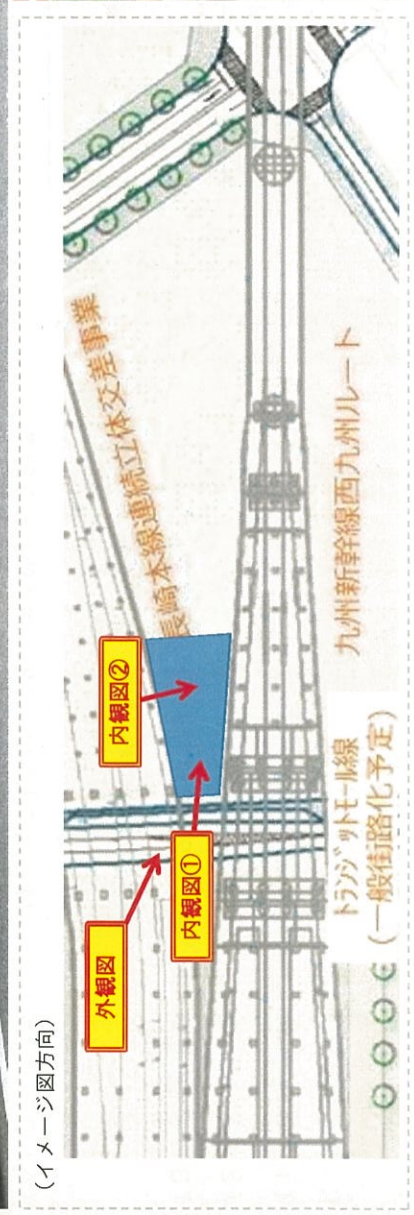
外観図



内観図①



内観図②



(イメージ図方向)